

はじめまして 遊四季多里 です

私たち遊四季多里(ゆうしき たり)は『**田舎の楽しい再発見**』をコンセプトに昨年1月に発足した小さなグループです。
田舎だからこそ出える本物を体験してもらう活動の一つとして星空をもっと身近に感じてもらうと観望会や研修会を行っています。

📍 私たちはここにいます 📍



昨年より鳥取県は「**星取県**」として県内外に情報を発信しています。そんな星取県の西部、島根県、広島県、岡山県と隣接する日南町。この星空は、昭和の文豪である井上靖(いのうえやすし)氏によって「**天体の植民地**」と称されて彼の作品にも登場します。そんな日南町の山間に私たちの活動拠点「多里地区」はあります。

グループの軌跡 (星空部門)

平成 19 年 1 月	地域振興をテーマとしたワークショップの中から発足。設立メンバー 5 名
5 月 20 日	星のソムリエ京都の方に協力していただき、第 1 回目の観望会「星取県で木星ゲット」を開催。町内外から 100 名以上の参加者にスタッフ驚き！
8 月 1 日	地元の星好き小中学生や大人を対象に星空案内サポーター研修を開催。天体望遠鏡の仕組みや扱い方、夏の星座の案内方法を伝授。
8 月 26 日	サポーター研修に参加した小中学生の天体自由研究発表と共に第 2 回目の観望会「星取県で土星ゲット」を開催。スタッフ含め総勢 30 名ほどの参加。
10 月 21 日	日南町が隣の日野町と合同で開催したモニターツアーの星空観望プログラムにサポーターとして参加。悪天候により屋外の観望会は中止となったが、屋内で行われた星空紹介を見学。講師は大阪在住の星空案内人の方。
11 月 22 日	秋の観望会「アンドロメダ銀河を觀ませんか」を計画するも雨天により中止。悪天候時の代替プログラムが今後の課題。
11 月 26 日	再びモニターツアーにサポーターとして参加。この日も天気が心配されたが、何とか月を見てもらう事ができた。
12 月 23 日	町内の小学生を対象に望遠鏡の手作り体験会を開催するも時期の選定を誤ったのか新規参加者は 2 名。しかし作成後に行った月の観望で参加した子が歓声をあげてくれた事が何よりの喜び。



子供たちによる研究発表の様子

日南町内には多里以外にも多くの星空スポットがあります。夜の街が暗い事は地域振興にとってマイナスではなく、暗いからこそ見える物がある。写真では伝わらない本物を体感する感動をこれからも伝えていきたいです。



Facebook

ブログ

